

# 北川の通信

2024年11月9日

vol. 153

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.cocan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

長い夏から  
秋冬号



報告

## トンボと一緒に

魚とれるかな？

## 9月開催のわんぱくまつり

初開催から29年目、第27回の今年は、酷暑を避けて初めて9月に開催しました。名前も”夏”を外して「北山わんぱくまつり」としました。当日の最高気温は35度でしたが木陰はかすかに涼しく、昨年より参加者も増え、昼をまたいで長い時間を公園内で過ごす家族連れが目立ちました。

内容は、おなじみのカヌー、魚とり、ザリガニ釣り、北川水族館・昆虫館、紙芝居、北山公園周辺で見られる生きもののパネル展示、東村山市みどり公園課との連携による「いきものさがし」、秋水園とんぼ工房の方々による竹ぼっくりづくり。昨年好評だったブリトーのキッチンカーに加え、地元のアイスクリーム・洋菓子屋さんも出店し、人気でした。

プログラムのほとんどが、里山の風景の残る貴重な自然を「体験・体感」する企画。一人乗りのカヌーは整理券制として（次ページへ）



カヌー遊びは今年も大人気



何がとれたかな？



紙芝居にみんな真剣なまなざし



カメさん一座で学ぶ外来種

いますが、ほぼお断りなく60人以上に乗船いただき、魚とり体験は30組以上の家族連れで賑わいました。未就学の子もたくさん、北川かっぱの会の大人たちにガサガサ（タモ網で川の中の生きものを捕獲する方法）を教わりながら、水の中を子どもも大人も真剣な表情で楽しそうに歩き、すべてのご家族が魚やエビを捕獲できたようです。

周辺の生態系を外来生物から守るための活動も、生体の展示とともに「カメさん一座」の口上によって多くの方に笑顔とともに知っていただけた良い機会でした。

まつりの全ては手づくりです。竹ぼっくりづくりやザリガニ釣りの竿に使った竹は、公園内にどんどん広がる竹を伐採し、切ったり削ったりしたもの。カヌー体験のための北川の堰止めは開催4日前に、今年も地元の建築関係の方にボランティアでお力添えをいただき、順調に作業が進みました。

東村山市と共催になって3年目、今回も事前準備から後片付けまで市の職員の方と市民と一緒に汗を流し、公園の指定管理者であるアメニス東村山市立公園グループの皆さんにも多大な協力をいただきました。

今年、運営に関わるボランティアの人手が改めて課題になりました。第1回の開催から29年。想いをこめてまつりを立ち上げ、支えてきたメンバーもシルバー世代に入ってきました。自然と人をつなぐ楽しい活動に、若い皆さんが1時間からでも参加してもらえるよう、来年は早めに広報を始めて、

誰もがわんぱくに身近な自然を満喫できるこのまつりをいっそう盛り上げていかれたらと思っています。

## 報告 北山公園の施設改修実施設計について意見交換

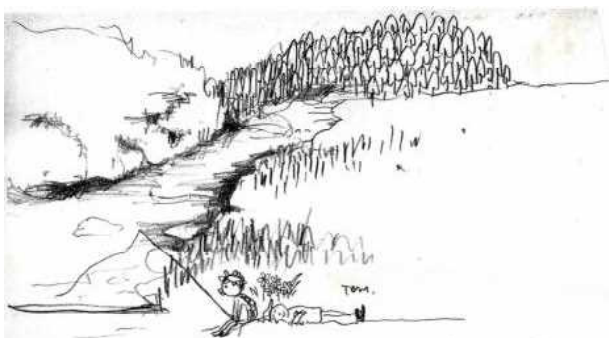
9月14日（土）北山公園整備計画等意見交換会（いわゆる「川端会議」）が開催され、北川かっぱの会からは4名が参加しました。今回の会議では、今年度中に内容が固まる「北山公園施設改修実施設計」の内容を中心に、意見交換が実施されました。

北山公園では、今年度以降10年間にわたり施設の長寿命化工事や水環境を改善する工事などが実施されますが、今回は2025年度に工事を実施予定のしょうちゃん池やその奥の湿地の改修工事、2026年度に工事を実施予定の水田（北山田んぼなど）の中や菖蒲田の脇を通る水路上流部の付替や整備工事の設計内容について検討を行いました。

現在、しょうちゃん池の奥の湿地については乾燥化して葦が茂っている状態になっていますが、大雨時には雨水を貯留することができる設計となっています。これを通常時も湿地に水が入る（滞留する）ように改善する方法について議論を行いました。水を滞留させるために、しょうちゃん池の脇にある湿地の流入口の高さを変えるなど、試行錯誤しながらの対応となる見込みです。

また、水路については、北山小寄りの北山田んぼ周辺では、公園内の民有地の田んぼの水確保のために、漏水しにくいコンクリート製の水路を敷設するとともに、景観にも配慮しつつ、いきものが水路を行き来できる構造とし、水路の底には砂礫などが敷設される予定です。北山田んぼ周辺の水路より下流側、三春桜のあたりまでの区間は、水路の付け替えを行って親水水路とする実施設計案が示されましたが、都市公園にある人工的な感じではなく、里山に流れる小川のような感じのいきものとふれあうことのできる場づくりをしてほしいという意見が多く出されました。

なお、子どもの水路遊びのルール（水路から菖蒲田への立入り制限など）については議論する時間が残らなかったことから、今後の検討に委ねることになりました。





## かっぱの楽校 生き物講座 第123回 美蛇 ジムグリ



記録的な高温が続いた令和6年、ようやく秋らしい天候となった11月のある日、八国山や北山公園を回って帰路に着こうと善行橋を渡り、ふと北川を眺めた時です。陰になっている所に小さなヘビが見えました。アオダイショウの子どもかなと思いましたが、念のため写真を撮影。すぐにモニターで確認すると「えっ、うそ、まじか」。撮影条件が悪く断定できないので、これはどうしてもはっきりした写真を撮らなければと思いました。できるだけ近寄り気配を消して待っていると姿を見せてくれました。なんと**ジムグリ**（写真）です。大変希少なヘビで、東京都レッドリスト絶滅危惧Ⅰ類とほぼトップランクになっています。日本固有種で美しい色をしています。半地中性の「地潜り」が名前の由来で、主に山地・丘陵地の森林に住みネズミなどを食べています。ヘビは移動性が乏しく、ジムグリは狭山丘陵には生息していないと思っていたのでかなりビックリしました。このジムグリは私が見ている前で、北川のコンクリート護岸の穴の中に潜り込んで行きました。この付近のコンクリート護岸は、魚巣ブロックなどと言われる生き物の隠れ場を提供する製品で、今

は自然に馴染んでいい感じの住みかになっています。治水上の問題などで人工構造物での対処がやむを得なくても、このように生き物に配慮した構造にすることで、自然との共生は可能であることを示してくれました。

北川・八国山にはジムグリの他、スーパー希少種のシロマダラがかっぱの会のK氏により撮影されており、さらにシマヘビ、アオダイショウも生息しています。しかし、ヘビを見つけるのはかなり難しいので、これら以外にも生息している可能性があります。もしもヘビを見つけたらぜひご一報ください。（ビー永島）

### 報告 北山小土曜講座

## トンボ捕りとヤゴいかだ作り

10月12日、かっぱの会が支援してトンボ捕りとヤゴいかだ作りを行いました。北山公園でトンボやバッタを捕まえました。どの子も作文で紹介のあるとおりでたくさんの虫を捕まえることができました。

一方、学校のプールサイドでは協力のお父さん3人とでヤゴ「いかだ」を製作しました。学校のプールも多くのトンボが産卵場所として利用します。トンボの種類により水面中に卵を産み落とすものと、水辺の植物(主に茎)に産卵するものがあり、「ヤゴいかだ」は後者のためのものです。毎年春に行うプールにいるヤゴ救出作戦で「いかだ」があると、水面に産卵するアカトンボだけでなく、茎に産卵するギンヤンマが見られることとなります。今年は、昨年に作った2個の補修と1個の製作を行い、元学校田で発生したワラと子どもたちに集めてもらった校内の雑草で「島」を作りました。子ども18、保護者10、スタッフ6人の参加でした。（遊星歯車）



### 寄稿 とんぼの秋

北山小学校3年 濱田佳汰

ぼくは生き物こうざの「ヤゴいかだと虫とり」にいきました。ついてさいしょにとんぼのかいせつをしてもらいました。おもにアカトンボのしゅるいについて話してもらいました。



次に北山公園に虫とりをしました。ぼくはトンボがたくさんいる所を見つけトンボがとまっている後からあみをふって地めんにおろしてつかまえました。すこしむずかしかったですが、たくさんつかまえられました。トンボいがいにもイナゴ、ドジョウ、オンブバッタ、クワガタ、チョウチョなどをみんなでつかまえて楽しかったです。

そのあと学校のプールへいき、ヤゴいかだを作るためざっそうをとって、いかだにのせて、かんせいさせました。

いかだをプールにうかべたあとみんなでつかまえてきたトンボをはなしました。するといかだのほうへとんでいきました。来年もたくさんトンボがとんでくれるとうれしいです。

## 報告 北山小4年生の総合的学習「外来種」を支援

9月17日（火）と10月11日（金）、北山小4年生の総合的学習「外来種」の授業を支援しました。授業はクラスごとに、9月の学習では北山公園で、まず外来植物（セイタカアワダチソウ、コセンダングサ、ヒメムカシヨモギなど）の駆除を体験し、公園内の外来植物ボックスに運びました。そして菖蒲田でアライグマやタヌキなどの足跡を確認しましたが、足跡の数は少なめでした。最後にかっぱの会が菖蒲田に仕掛けてある網から引き揚げたアメリカザリガニやクサガメを観察しました。アメリカザリガニをつかんだ経験のない児童も、つかむことができるようになりま

した。

10月の学習では、講義形式で「外来種って何？」、「外来種って何が問題なの？」、北川や北山公園で見られる外来種の紹介、「外来種は悪者なのか」、「どうやって解決したらいいの？」について対話形式で学習しました。

全体的には質問もたくさん寄せられ、外来種への関心の高さがうかがえたと感じています。北山公園や北川などの生物多様性の保全に向け、児童たちの体験学習が大きな力になってほしいと感じました。



## 報告 NPO子育て支援ネットワーク「すずめ」の 北山公園 里山探検支援

10月13日（日）、つばさ保育園・幼児教室すずめ在園児、保護者向けの行事をかっぱの会が支援しました。一昨年に続いての2回目の開催で、北山公園の自然・生き物に親子で触れ合ってもらうことを目的にし、親子21組、50人ほどの参加がありました。前半は1時間少しかけ、この日の主役のイナゴ、オンブバッタ、イボバッタ、クサキリ、エンマコオロギなどのバッタたちを親子で追いかけて虫捕り体験を楽しみ、身近にすばらしい自然があること



を知ってもらいました。後半は外来種のアミの点検作業で捕獲したクサガメや北山小などで捕獲したウシガエル、アメリカザリガニなどを観察し、外来生物の駆除の必

要性や北山公園の歴史やなども保護者に知ってもらうことができました。このようなことが、この先の北山公園や東村山の自然を守るための大きな力になっていくことを願っています。(ビー永島)

## 里山探検 保護者アンケートから

● 普段経験できない探検ができて、良かったです。自然のザリガニやカエル昆虫などに触れられて、子どもも楽しそうでした。また、在来種を守る活動などをされていることも知る事が出来、北山公園の歴史も教えていただき、勉強になりました。採った昆虫などの名前をすぐに教えていただき、すごいなと思いました。ありがとうございました。

● とても良い気候で気持ちよく参加できました。母子とも虫には触れないのですが、田舎生まれの田舎育ちの私でも見

たことない虫が生息している事を知り貴重な体験になりました。子どもを自然の中で遊ばせたいと思っているものの、遊び方が分からず、私が外遊びが苦手なこともあり、このような機会があると皆さんに助けられながら、自然と触れ合う事ができて、とてもありがたいです。

● 私達親からすると遊具も無いこの公園の一体なにが楽しい？でしたが、子どもにとっては住みたいぐらい北山公園が大好きなことが分かりました。

● 日頃、子ども達は自然に触れる機会が少ないので、自然豊かなところで遊べて良い経験ができました。虫を捕まえて虫かごに入れてごはんの葉っぱを食べている様子を観察して、最後はリリースして、子どもにとってもいきものの命の大切さを学びました。



## 2024年11月～25年1月 活動スケジュール

本 は ボランティア募集 の略、会 は 会員のみ の略  
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつぱの会)  
または直接会員にお知らせください

なお、スケジュールは今後、追加や変更となる可能性がありますので、当会のブログやfacebookで最新の情報の入手をお願いいたします。

### 定例川そうじ 団

毎月第2土曜 9～11時(雨天中止)  
11/9、12/14 集合:北山小正門前

### 北山小学校土曜講座 & 一般向け

野鳥観察会 団(北山公園と八国山)

1/11(土) 10-12時 集合;北山公園あずまや(荒天中止)

### かつぱ定例会

12/21(土) 15時-16時半頃(サンパ  
ルネ3階) 1月～3月頃の活動予定  
を中心に検討します。



## 会費納入のお願い

今回、今年の会費について未納の方には振込用紙を同封させていただきましたので、最低限の活動を行なっていくためにも、会費（一般会員；年間3000円）のお振込をお願いいたします（既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください）。

「支援会員（主にカンパで支援していただける方が対象で、2年間で2000円（学生は1000円）」の区分もあります。振込用紙の該当欄に記入をお願いするとともに、これまで一般会員だった方々には、引き続き一般会員の区分で継続していただけますと幸いです。なお、りそな銀行あて送金される場合には、shot-1205@kjc.biglobe.ne.jp吉田あてご一報いただけますと幸いです。

## ご寄付に深謝！

9月の北山わんぱくまつり、10月北山いきものクラブで多くの方々から寄付をいただきました。ありがとうございました。

## 北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円+送料180円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップ-未来の川へ-』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の生き物観察ガイド ver2.0』かっぱの会20周年記念発刊。北川・

八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体にしたミニ図鑑。観察会などイベントで無償配布。A4両面版。（A2両面の旧版は絶版。）

## かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間3000円  
支援会員：2年間で2000円  
学生は2年間で1000円  
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先  
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先  
〔郵便振替 00120-6-104476〕  
〔りそな銀行東村山支店  
（普）3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

## ■編集後記

暑い季節のおかげで外での遊びが長くできたはずが、何故かお天気に恵まれなく、紅葉もうんときれいなのはなかなか見られませんでした。さて、秋の終盤どこへ行こうか。

（遊星菌車）

●発行：北川かっぱの会  
連絡アドレス  
CZT12221@nifty.ne.jp



7,1,2,6,5,3 4



あああああ 2023.09.17 前川

おおお

いはい

